

8010～8077 中学校授業料（私立）、高等学校授業料（公立）、高等学校授業料（私立）、専修学校授業料（私立）		
品目	銘柄	単位
8010 中学校授業料（私立）	私立中学校、授業料・入学金	学校別
8020 高等学校授業料（公立）	公立高等学校、全日制、普通科、授業料・入学金	所得区分別、学校別
8030 高等学校授業料（私立）	私立高等学校、全日制、普通科、授業料・入学金	所得区分別、学校別
8077 専修学校授業料（私立）	私立専門学校、昼間部、看護学科、修業年限3年、授業料・入学金	学校別
1か年 (入学金は1回)		
価格選定 (1) 銘柄ごとに授業料と入学金を選定する。 (2) 入学金は、各学年の生徒が入学した当時の金額を用いる。 (3) 調査市町村別（「8077 専修学校授業料（私立）」においては都道府県別）に学校を所定数選定する。 (4) 「8020 高等学校授業料（公立）」及び「8030 高等学校授業料（私立）」においては、就学支援金を控除した価格とし、所得区分を複数選定する。		
指数算出方法 ① 学校（ a ）別に学年数（ n ）で単純平均し、平均授業料及び平均入学金を算出する。なお、「8020 高等学校授業料（公立）」、「8030 高等学校授業料（私立）」においては、所得区分（ c ）別の世帯割合（ q ）を用いて加重平均する。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p><授業料></p> $p_{t,a}^{\text{授}} = \frac{\sum_{b,c} p_{t,a,b,c}^{\text{授}} q_{0,c}}{n \sum_c q_{0,c}}$ </div> <div style="text-align: center;"> <p><入学金></p> $p_{t,a}^{\text{入}} = \frac{\sum_b p_{t,a,b}^{\text{入}}}{n}$ </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <p>t : 比較時、0 : 基準時 a : 学校 b : 学年 c : 所得区分</p> </div> </div>		
② 授業料と入学金を合算し、学校別の平均価格を算出する。 $p_{t,a} = p_{t,a}^{\text{授}} + p_{t,a}^{\text{入}}$		
③ 学校別の在籍人員（ q ）を用いて、調査市町村別（「8077 専修学校授業料（私立）」においては都道府県別）の品目別価格指数を算出する。 $I_t = \frac{\sum_a p_{t,a} q_{0,a}}{\sum_a p_{0,a} q_{0,a}} \times 100$		
価格指数の適用 専修学校授業料（私立）は、都道府県内一律に適用する。 専修学校授業料（私立）以外は、調査市町村別に適用する。		

8080、8090 幼稚園保育料（公立）、幼稚園保育料（私立）		
品 目	銘 柄	単 位
8080 幼稚園保育料（公立）	公立幼稚園及び認定こども園（幼稚園型又は幼保連携型）、2年保育、1人が入園の世帯が支払う保育料・入園料	1か年 (入園料は1回)
8090 幼稚園保育料（私立）	私立幼稚園及び認定こども園（幼稚園型又は幼保連携型）、3年保育、1人が入園の世帯が支払う保育料・入園料	
価格選定 (1) 銘柄ごとに保育料と入園料を選定する。 (2) 調査市町村別に幼稚園を所定数選定する。 (3) 所得区分を複数選定する。 (4) 「8090 幼稚園保育料（私立）」のうち新制度へ移行していない幼稚園においては、無償化等の補助金を控除した価格とする。		
指数算出方法 ① 幼稚園(a)別所得区分(b)別保育年(c)別の保育料と入園料を合算する。入園料は初年度のみ価格を設定し、他学年はゼロとする。 なお、2019年度は10月に無償化が開始されるため、年度内の制度変更を反映させる。 <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> $P_{t,a,b,c} = \begin{cases} P_{t,a,b,1}^{\text{保}} + P_{t,a,b,1}^{\text{入}} & c = 1 \\ P_{t,a,b,c}^{\text{保}} + 0 & c \neq 1 \end{cases}$ <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <p>t : 比較時、0 : 基準時 a : 幼稚園 b : 所得区分 c : 保育年</p> </div> </div> ② 保育年数(n)で単純平均し、所得区分別の平均価格を算出する。 $P_{t,a,b} = \frac{\sum_c P_{t,a,b,c}}{n}$ ③ 所得区分別の世帯割合(q)を用いて加重平均し、幼稚園別の平均価格を算出する。 $P_{t,a} = \frac{\sum_b P_{t,a,b} q_{0,b}}{\sum_b q_{0,b}}$ ④ 幼稚園別の在籍人員(q)を用いて、調査市町村別の品目別価格指数を算出する。 $I_t = \frac{\sum_a P_{t,a} q_{0,a}}{\sum_a P_{0,a} q_{0,a}} \times 100$		
価格指数の適用 調査市町村別		